令和7年度メンバーの声（参加理由）

* 私は選挙権を得た時に、国に自分の意思としての1票が入れられる状況をとても嬉しく思い、お祭りのように感じ、ワクワクしていたのを覚えています。個々の演説では色々な意見や考え、制作を知れて感動していました。ある日テレビで、NPO法人の方が、選挙に対して、「若者の投票率が低いのは呼び掛けが足りないからだ」と仰っていて、ボートマッチを作ったり、議員さんのインタビューを行ったりしていました。私もこの方みたく政治の楽しさを知って投票率をあげ、みんなでまちづくり、国に参加する、当事者意識を持って欲しいと思っていたので、衝撃を受け、そのNPO法人の方が主催している政治のお話をする、政治を身近に感じてもらう話し合いの場に何度か参加させて頂きました。私もなにかできることは無いか、選挙を前向きにお祭りのように素敵なものに出来ないか、あのワクワク感を身近に思って欲しい。という思いがあり、応募致しました。
* 元来選挙に興味があったことに加えて、特に近年若年層の投票率が低下していることを憂慮していたからです。投票率が低下し続けるままだと、政治に緊張感が生まれず、若者向けの施策がますます行われにくい状況に陥るのではないかと考えていました。大学の授業で「Activate仙台」に参加している学生の方から紹介があったこともあって、参加を決めました。
* 私は同年代の人のSNSを見て政治に興味を持ちました。SNSでは政治・社会問題の話をできますが、友人や家族には話すことを少しためらってしまいます。もっと身近に生活の一部としてそういった話をできるようにするために、自分にできることを探したいと思い参加を希望しました。
* 私は、大学への進学以前から地元の市議会見学に参加して発言するなど、地方自治と行政に高い関心を持っていました。また、自らの興味に適するボランティア活動に参加したいという意志もありました。このような2つの理由から、今回この選挙啓発のボランティアに参加することを決意いたしました。
* 私は、元々選挙というものに興味がありました。小さい頃からニュースや新聞で政治の問題が報道される度に政治の良い側面、そして悪い側面を知るようになり、選挙というものを通じて自身の意見を議会に反映できるということを心待ちにしていました。しかしながら、現在の若者の投票率はとても少なく、自身が行動を起こすことでなにか変化が起きればと思いこの活動に参加しようと考えました。